

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330421107	図画工作研究A Research of Arts and Crafts A	古田 年寿			2	必修	2前期

## 科目の概要

DP2に記載される、小学校教諭として社会的に自立して生きていくために必須である、免許取得のための教科教育指導に関するスキル・リテラシー・教養等における一般的知識や技能を学修する。さらに、DP3記載に基づく図画工作科指導に必要な専門的知識・技能の習得を目指す。そのためこの科目では、実際の教科書の題材に則り、演習を中心とした講義を行う。小学校時代に戻って作品を作ることで、五感全体を使って図画工作科の指導を行うために必要な感性を体得し、図画工作教育の本質を理解することを目標とする。

学修内容	到達目標
① 幼児の造形表現に関する発達段階を理解する。 ② 教科書題材の領域や表現活動の種類を実際の教科書の題材より理解する。 ③ 図画工作科の教科書を用いて、低・中・高学年の領域や活動ごとの演習を行い、図画工作科の特徴を理解する。 ④ 作品作りや作品の保管にICTを活用する。	① 幼児の造形表現に関する発達段階を理解できる。 ② 教科書題材の領域や表現活動の種類を実際の教科書の題材より理解できる。 ③ 図画工作科の教科書を用いて、低・中・高学年の領域や活動ごとの演習を行い、図画工作科の特徴を理解できる。 ④ 作品作りや作品の保管に関して、積極的にICTを活用できる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	子どもの発達を理解した上で、各学年の領域ごとの演習ができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業の準備を怠ることなく、万全の用意をすることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業ごとの反省点を、教員の指摘と合わせて、自身の振り返りによって発見することができる。
	計画力	演習内容に合わせて使用材料等の判断ができ、制作工程の見通しを立てることができる。
	創造力	課題演習を通して、学校現場における子どもの視点に立った独特の課題テーマを新たに考え、創出できる。
チームで働く力	発信力	グループワークにおいて、自身の意見をはっきり伝えることができる。
	傾聴力	授業後の総括において、改善点を意識しながら聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自己判断で行動せず、授業内の規定を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：文部科学省 『小学校学習指導要領解説図画工作編（平成29年告示）』  
 参考書：山口喜雄、佐藤昌彦、奥村高明著 『小学校図画工作科教育法』 建帛社

## 他科目との関連、資格との関連

「図画工作研究A」は、学科専門科目群の小学校領域の中の「教科及び教科の指導法に関連する科目」に配置されており、小学校教育という点で各教科の科目に関連している。図画工作の教科の指導法としては「図画工作教育法」に関連し、次に履修する「図画工作研究B」の補完的科目である。また、小学校教諭1種の資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
小学生は6学年あり、かつ児童の様子は多彩であるため、発達段階の理解をしっかりとっておく必要があります。また図画工作は「楽しい」という雰囲気作りが特に重要であり、そのためには学生のみなさんが「楽しい」と感じなければなりません。作品制作はその過程が何より大切です。是非、表現が持つその過程を楽しんでください。	自分自身の小学生時代を振り返り、図画工作の授業がどのようなものであったかを思い出しながら、児童の発達を踏まえた授業を考えてみましょう。また、返却された作品やレポートは、は廃棄することなく、画像やファイルにまとめて保管し、今後に役立ててください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		30	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
④							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			60	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
	④			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>①各学年の領域や活動ごとの演習、作品制作に積極的に取り組み、完成度とクオリティが高いものに仕上がっている。</p> <p>②演習で気付いたことを応用し、学校現場での新たな課題創出に繋げようとしている。（レポート）</p> <p>※①②のレベルに到達した場合はA（優）評価とし、さらにそれを上回る場合は、レベルS（秀）評価とする。</p>	<p>①各学年の領域や活動ごとの演習、作品制作に積極的に取り組み、完成させることができた。</p> <p>②各学年の領域や活動ごとの内容が理解でき、客観的に自己評価をすることができた。（レポート）</p> <p>※①②の評価を得られた場合はB（良）とし、消極的な態度や、レポートの記述が的確でない場合はレベルC（可）評価とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業の目的や内容、レポート、評価等について知り、学修の見通しを持つ。	講義 演習	造形表現の発達段階(描画活動)を理解できている。 (振り返りレポートの提出)	(予習) 0～9歳(小学校低、中学年) くらいまでの幼児、児童画を調べ、自分なりの見解をまとめておく。 (復習) 今日の学修内容を整理しておく。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	<図画工作科 表現領域 造形あそび(低学年) 理論と実践・展開> ・色水36色から遊びを展開する。	講義 低学年の「造形あそび」 演習 教科書題材より(グループワーク)	図画工作科 表現領域 造形あそび(低学年) 理論と実践・展開について理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「造形あそび」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「造形あそび」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
3	<図画工作科 表現領域 造形あそび(中学年) 理論と実践・展開> ・影絵に挑戦	講義 中学年の「造形あそび」 演習 教科書題材より(グループワーク)	図画工作科 表現領域 造形あそび(中学年) 理論と実践・展開について理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「造形あそび」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「造形あそび」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
4	<図画工作科 表現領域 造形あそび(高学年) 理論と実践・展開> ・紐や紙テープ、ビニールテープ等を使って空間を飾る。	演習 高学年の「造形あそび」 作品制作 教科書題材より(グループワーク)	図画工作科 表現領域 造形あそび(低学年) 理論と実践・展開について理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「造形あそび」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「造形あそび」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
5	<図画工作科 表現領域 絵に表す活動(低学年) 理論と実践・展開> ・お話の絵を描く。	講義 低学年の「絵に表す活動」 演習 教科書題材より 作品制作	図画工作科 表現領域 絵に表す活動(低学年) 理論と実践・展開を理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「絵に表す活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「絵に表す活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
6	<図画工作科 表現領域 絵に表す活動(中学年) 理論と実践・展開> ・デカルコマニーからの展開を考える。	講義 中学年の「絵に表す活動」 演習 教科書題材より 作品制作	図画工作科 表現領域 絵に表す活動(中学年) 理論と実践・展開を理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「絵に表す活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「絵に表す活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
7	<図画工作科 表現領域 絵に表す活動(高学年) 理論と実践・展開> ・水墨画に挑戦する。	講義 高学年の「絵に表す活動」 演習 教科書題材より 作品制作	図画工作科 表現領域 絵に表す活動(低学年) 理論と実践・展開を理解し、作品として表現できる高	(予習) インターネット等で「絵に表す活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「絵に表す活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
8	<図画工作科 表現領域 立体・工作に表す活動(低学年) 理論と実践・展開> ・新聞紙アルミホイルで立体を制作する	講義 低学年の「立体・工作に表す活動」 演習教科書題材より 作品制作	図画工作科 表現領域 立体・工作に表す活動(低学年) 理論と実践・展開を理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「立体作品に表す活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「立体作品に表す活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<図画工作科 表現領域 立体・工作に表す活動(中学年) 理論と実践・展開>	講義 中学年の「立体・工作に表す活動」 演習教科書題材より作品制作	図画工作科 表現領域 立体・工作に表す活動(中学年) 理論と実践・展開を理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「立体作品に表す活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「立体作品に表す活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
10	<図画工作科 表現領域 立体・工作に表す活動(高学年) 理論と実践・展開> ・石鹼彫刻	講義 高学年の「立体・工作に表す活動」 演習 教科書題材より作品制作	図画工作科 表現領域 立体・工作に表す活動(高学年) 理論と実践・展開を理解し、作品として表現できる。	(予習) インターネット等で「立体作品に表す活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「立体作品に表す活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
11	<図画工作科 鑑賞領域 鑑賞活動(低学年、中学年、高学年) 理論と実践・展開> ・小学生の各学年に沿った作品鑑賞のためのワークシートを考案する。	講義 低、中、高学年の「鑑賞活動」 演習 教科書題材より	図画工作科 鑑賞領域 鑑賞活動(低学年、中学年、高学年) 理論と実践・展開を理解しワークシートを作成できる。 (課題提出)	(予習) インターネット等で「鑑賞活動」についての知見を広めておく。 (復習) 教科書会社のHPで「鑑賞活動」の実践を確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
12	<障害者理解> ・手以外を使って絵を描く。	演習 ディスカッション	手以外で描くことで、表現者としての身体障害者を理解する。 (振り返りレポートの提出)	(予習) インターネット等で身体障害者画家について調べ、制作の様子や作品について自分なりの見解をまとめておく。 (復習) 今日の制作体験を振り返り、学校現場でどう活かすことができるかを考える。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	<日本の文化に触れる(切り絵)①> ・日本独自の文化ともなされている切り絵を制作をする。	講義 作品制作	切り絵に興味、関心を持ち作品制作をしている。	(予習) インターネット等で切り絵の技法や作例を調べ、自身の作品の図案を考えておく。 (復習) 授業時間内でできなかったことを補完しておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
14	<日本の文化に触れる(切り絵)②> ・前回からの制作を続け、作品を完成させる。	作品制作	切り絵に興味、関心を持ち作品を完成させることができている。 (作品提出)	(予習) 作品の質向上のために何が必要かを考えておく。 (復習) 切り絵制作が学校現場の指導にどのように活かすことができるかを考える。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
15	<まとめ> ・これまでの学修内容を総括し、学校現場指導にどのように活かすことができるかを考える。	演習 ディスカッション 振り返りレポートのフィードバック	図画工作研究Aの学修内容を振り返り、総括することができる。 (振り返りレポートの提出)	(予習) これまでに制作した作品やレポートを見直しておく。 (復習) 振り返りレポートを作成する。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力